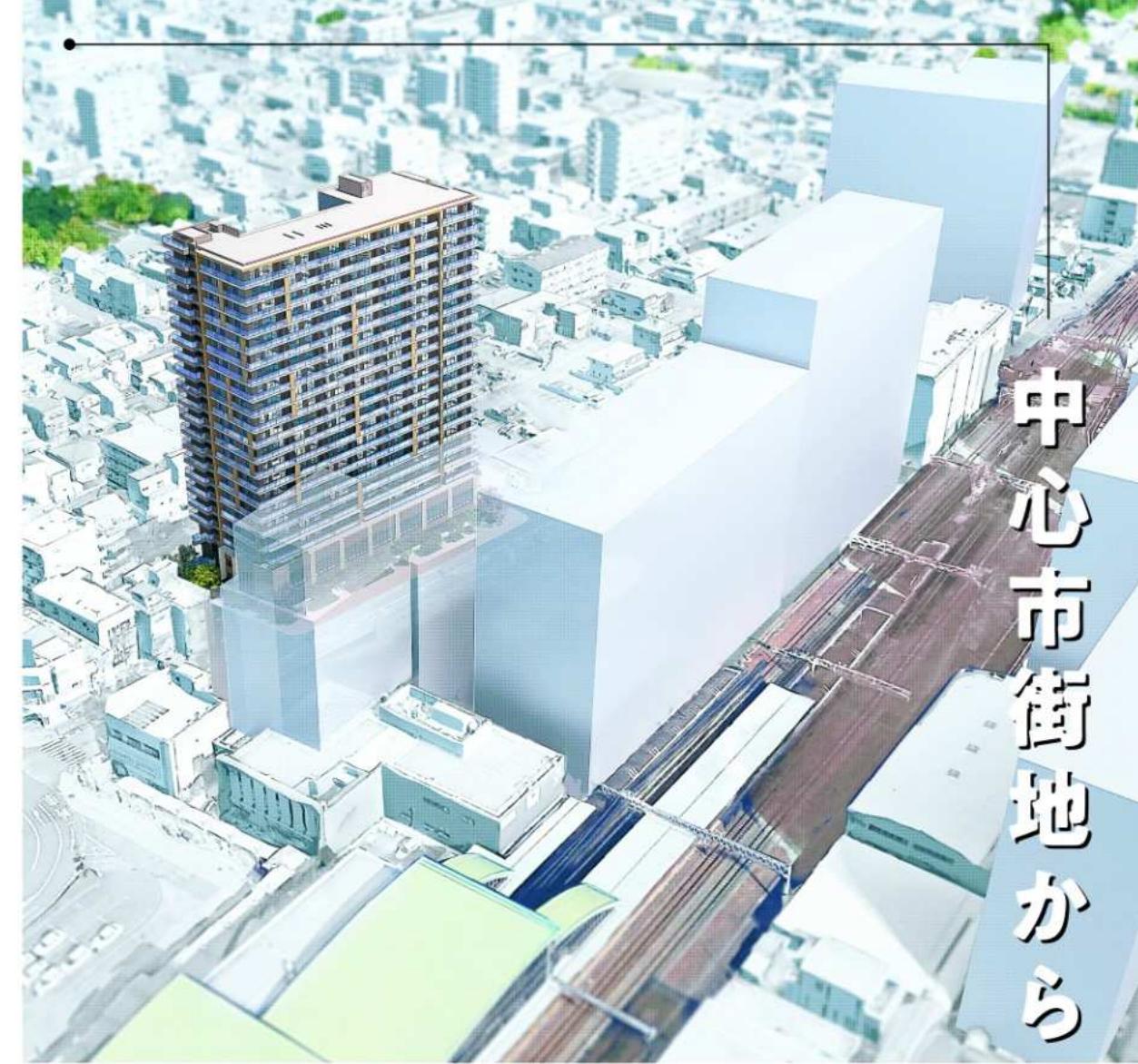


中心市街地から 魅力あふれる街へ



これまでの延長線上の行政から抜け出し、新たな発想とチャレンジで未来を切り拓き、市民誰もが「幸せになるまち」づくりを加速してまいります。

り組んでいます。
保育施設においては、7年連続で待機児童ゼロです。また安心で持続可能な保育環境づくりに向け、保育人材の育成や働きやすい環境づくりにも重点的に取り組んでいます。

このほか、新婚世帯の新規の住宅購入や引越し費用等に最大80万円の補助や、18歳以下のお子さんがいる子育て世帯の新規住宅購入や引越し費用にも、最大1・3・0万円を補助しています。県内でもトップクラスの補助制度で、移住・定住を促進しています。

江崎 「藤枝市は子育てがしやすいまち」だと、多方面からよく耳にします。今回再開発事業が進む9街区にも、こどもたちの元気が湧いてきます。

江崎 「藤枝市は子育てがしやすいまち」だと、多方面からよく耳にします。今回再開発事業が進む9街区にも、こどもたちの元気が湧いてきます。



れる9街区の中に、商業施設や教育施設などを誘致する計画があるそうです。藤枝駅周辺の中心市街地には、駅南に市の産学官連携推進センターがあり、静岡産業大学の駅前キャンパスがあつたり、市立図書館など、文化的な施設が充実しています。

また、9街区から生まれるエリマネジメントでも連携させていただきながら、街の活性化の一助になればと願っています。

北村 昨年は市制施行70周年。サッカーのまち100周年。2つの記念すべき節目の年でした。この大きな節目の時を、今を担う我々が歴史の中での大きな転換点とし、新しい藤枝市創生の出発点にしなければなりません。

これまでの延長線上の行政から抜け出し、新たな発想とチャレンジで未来を切り拓き、市民誰もが「幸せになるまち」づくりを加速してまいります。

この駅前一丁目9街区の市街地再開発事業による新たなランドマークの誕生により、広域都市機能や生活利便機能の集積で良好な住環境が整備されることを大いに期待をしています。

ただ建物を建てるだけではなく、一番大事なことは、周辺地域の活性化、拠点性、これを求めるべきだ。

それを実現化する「こども計画」を、こどもや若者たちの声を聞きながら、2024年度末に策定します。

さらに、「こども支援策にも取り入れています。例えば放課後児童クラブなどのこどもの健

康費の完全無償化などにも取

り入れています。条例」を2023年度末に制定し、それを具現化する「こども計画」を導くために、こども基本法策定します。

こどもに優しく、健やかな成長

層の移住も多いとのこと。市では子育て支援事業にも力を入れているそうですね。

北村 当市では、あらゆる面で

こどもに優しく、健やかな成長

層の移住も多いとのこと。市では子育て支援事業にも力を入れているそうですね。